はじめに

ConsoleDA Manager インストールガイドでは、ConsoleDA Manager のインストール手順について説明します。

※ 以下、説明用画面は Windows Server® 2003 R2 および Windows Server® 2008 R2 上で実行したときのイメージです。

重要なお知らせ(注意事項)

- セットアッププログラムでインストールされるプログラムは下記以外での動作を保証しておりません。
 - Windows Server® 2003 SP2
 - Windows Server® 2003 R2 SP2 32bit
 - Windows Server® 2008 SP2 32bit, 64bit
 - Windows Server® 2008 R2 SP1
- ConsoleDA Manager と Microsoft® SQL Server®は同じ PC・サーバにインストールしてください。
- ConsoleDA Manager をインストールする前に Microsoft® SQL Server®をインストールしてください。
 またあわせて Microsoft® SQL Server® Management Studio のインストールも行ってください。
- ConsoleDA Manager のインストールを実行するには、インストールする PC・サーバの管理者権限を持つユーザー でログオンしてください。
- インストールする PC・サーバの環境によっては、下記要件のインストール画面が表示される場合があります。これらの画面が表示された場合は、「インストール」をクリックして要件のインストールを行ってください。

マテータス	要件
待機中	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 (x86) Language Pack - Japanese

● OS が Windows Server[®] 2008 SP2 64bit 版または Windows Server[®] 2008 R2 SP1 の場合、以下のようにサー バマネージャを起動し、.NET Framework 3.5 をインストールしてください。

2. サーバー マネージャー	
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	
🗢 🔿 📶 🚺	
	 後約の意要へルブ 予想認知意意 現他の利除
▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲	
	🔜 🛃 A 般 🐃 👘 🚱 🛤 🗘

左メニューから[機能]を選択し、右画面にある、[機能の追加]を選択してください。

画面一番上にある[.NET Framework 3.5.1 の機能]の[+]を選択し、「.NET Framework 3.5.1」のチェックボックスに チェックし、[次へ(N)>]をクリックしてください。

機能の追加・	ウィザード		×
	機能の選択		
 機能 確認 進行状況 結果 		20サーバーイインストールする機能を 1 つ以上選択します。 機能()	-
		< 前へ(的) 次へ(1) > イシストール(1) キャンセル	

[インストール(I)]をクリックしてください。

機能の追加ウィザード		×
インストール オプショ	コンの確認	
概能 暗記 進行状況 結果	 次の役割,役割サービス、または裸能をセンストールするには、【インストール】をクリックしてください。 ① 次の14の情報メッセージ ④ インストールの子 7 住に、このサーバーの再起動が必要になる場合があります。 ④ NET Framework 3.5.1 の構施 NET Framework 3.5.1 	
	<前へ(P) 次へ(II) > 【インストール(D) キャンセル	

[閉じる(O)]をクリックすればインストール完了です。

機能の追加ウィザード		×
インストールの結果		
 一一個 一個 一回 <l< th=""><th> 次の役割、役割サービス、または様能が正常にインストールされました </th><th></th></l<>	 次の役割、役割サービス、または様能が正常にインストールされました 	
	インストール・レポートの印刷、電子メール送信、または保存	
	< 前へ(P) 次へ(U) > 開いる(Q) キャンセル	

- 設定入力を必要とするインストール画面では、あらかじめ既定値が表示されている項目があります。変更の必要が ない場合、既定値のまま設定を行ってください。
- ConsoleDA Manager のインストール完了後、各種設定を変更する場合は、「2.環境設定ファイル」を参照ください。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容の一部、または全てを無断で転載することを禁止します。

Copyright © Hitachi, Ltd. 2011 all rights reserved.

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SQL Server は米国 Microsoft Corporationの米国 およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- その他、会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

1. ConsoleDA Manager のインストール

ConsoleDA Manager はデータベース等に格納される、管理情報のアクセス方法を他のプログラムに提供します。 以下、ConsoleDA Manager のインストール手順を示します。

- 1.1. Microsoft® SQL Server®のインストールと設定
 - ConsoleDA Manager は SQL Server 認証を使用しデータベースへアクセスを行います。
 Microsoft® SQL Server®のインストール時に指定する認証モードは「混合モード(<u>M</u>)(Windows認証と SQL Server 認証)」を選択してください。

画面は Microsoft® SQL Server® 2005 SP3 Express Edition ですが、他のバージョンや Edition を使用する 場合も同様に設定してください。また sa ログオンパスワードは任意のパスワードを設定してください。

╔╋Microsoft SQL Server 2005 Express Edition セットアップ	×
認証モード 認証モードでは、SQL Server との接続時に使用するセキュリティを指 定します。	
このインストールで使用する認証モードを選択します。	
○ Windows 認証モード(型)	
◎ 混合モード(M) (Windows 認証と SQL Server 認証)	
以下の sa ログオン パスワードを指定してください:	
パスワードの入力(E):	

パスワードの確認入力(P):	

ヘルプ(H) < 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

● SQL Server 構成マネージャでプロトコルの TCP/IP を有効/すべての受信待ちを「はい」に設定してください。 また他のプロトコルは ConsoleDA Manager では使用しませんので、特に必要が無い場合は無効に設定して ください。

SQL Server Configuration Manager			
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H))		
 ※ SQL Server 構成マネージャ (ローカル) → ■ SQL Server 2005 のサービス → ■ SQL Server 2005 ホットワークの構成 → ■ SQL EXPRESS のプロトコル 田 - ● SQL Native Client の構成 	プロトコル名 マース有メモリ マース有メモリ マース前付きパイプ マース前付きパイプ マース 有効化(2) マース 有効化(2) エッカ化(2) エッカ化(2) マース 不可し、 エッカ化(2) マース 不可し、 マース です 不可し、 マース です 不可し、 マース 不可し、 マース 不可し、 マース 不可し、 マース 不可し、 マース です 不可し、 マース 不可し、 アース 不可し、 アース 不可し、 アース 不可し、 マース 不可し、 マース 不可し、 アース 不可し、 アース 不可し、 アース 不可し、 アース 不可し、 アース 不可し、 アース 不可し、 アース 不可し、 不可し、 不可し、 不可し、 不可し、 でのののののののののののののののののののののののののののののののの	状態 有効 無効 効 効	•
▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲	 きます。		

CP/IPのプロパティ ゴロトコル Im アル・コー	<u>?</u>]:
フロアゴル JP アドレス I General Keep Alive すべて受信待ち 遅延なし 石効 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	
有効 このサーパー インスタンスの TOP/IP プロトコルを有効または無効にします	
OK キャンセル 適用(A)	

- SQL Server 構成マネージャでサービスの設定を行ってください。
 - SQL Server(インスタンス名) のプロパティ [ログオン]-[ビルトインアカウント]を「ネットワークサービス」に設定 [サービス]-[開始モード]を「自動」に設定
 - SQL Server Browser のプロパティ
 - [ログオン]-[ビルトインアカウント]を「ネットワークサービス」に設定
 - [サービス]・[開始モード]を「自動」に設定
 - サービスが開始していない場合は、サービスを開始



12200 1100 000 00			
General col. H-KRA新新	COL Desineer	次のアカウントでログオン:	
このに リービスの (単美)	1		
15-7-11-18-7	C:#Program Files#Microsoft SQL Server#0	・ ビルトイン アカワント(目):	
702710	0	ネットワーク サービス	
ホフトター	YENDESKTOP1		
開始主要因	白朝	 このアカウント(H); 	
MAX 2 C 1 弦アコード	1077		
11.5 前日	停止	アカウント名(N):	毎昭(の)
么前	SQL Server Browser		Sec. (2)
	da d	J\$7□−K(A);	
		/ V/ 2 / (<u>D</u>)	
		パスワードの確認入力(C): 「**********************	
		サービスの状態: 停止	
		サービスの状態: 停止	
告モ~ド		サービスの状態: 停止 間始(6) (夏止(五))	再起動(R)
会モード サービスの開始モード。		サービスの状態: 停止 開始(<u>6</u>) (停止(<u>T</u>) 一時(停止(<u>P</u>)	再起動(<u>R</u>)
治モード サービスの開始モード。		サービスの状態: 停止 開始(⑤) (停止(工))	再起動(<u>R</u>)

重要:

- Windows® Firewall やセキュリティ製品が提供する Firewall 機能を使用する場合は、設定を調整してください。
- システムの運用に伴い、データベースのトランザクションログが蓄積されていきます。これを長期間放置しますと、サーバのストレージを圧迫しシステムの動作に支障をきたすことがあります。定期的にログのバックアップや切り捨てなどを行う運用をお勧めします。

1.2. ConsoleDA Manager インストールの注意事項

- ConsoleDA Manager は常時稼働している PC、あるいはサーバにセットアップしてください。
- ConsoleDA Manager は、Microsoft® SQL Server®を構築した PC・サーバにセットアップしてください。

1.3. インストール

Hitachi bd Link Version3 /CB CD-ROM または Hitachi bd Link Version3 /SV CD-ROM の Installer フォルダー にある ManagerSetup.exe を実行すると次の画面が表示されますので、「次へ(N)>」をクリックしてください。

🔂 ConsoleDA Manager – In	stallShield Wizard	×
2	ConsoleDA Manager用のInstallShield ウィザードへようこそ	
	InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ ConsoleDA Manager をインストールします。「次へ」をクリックし て、続行してください。	52.0
	警告: このプログラムは、著作権法および国際協定によって保ま されています。	ŧ
	< 戻る(B) (次へ(N) > キャンセル	

「使用許諾契約」では使用許諾契約書の内容を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意します」を選び、「次へ(N)>」を クリックしてください。

🙀 ConsoleDA Manager – InstallShield Wizard	×
使用許諾契約 次の使用許諾契約書を注意深くお読みください。	と
使用許諾契約書	
お客様へ	
「使用許諾契約書」を必ずお読みください。 本ソフトウェアのインストール、または使用をも一 契約書」をご承諾いただき、使用許諾契約が成立した だきます.ご承諾頂けない場合は、本ソフトウェアの 用を許諾できません。	って、本「使用許諾 こものとさせていた インストール、使
 ○ 使用許諾契約の条項に同意します(<u>A</u>) ○ 使用許諾契約の条項に同意しません(<u>D</u>) 	ED刷(<u>P</u>)
InstallShield	
< 戻る(旦) 次/	(1)> キャンセル

「初期設定」では、データベースサーバ名、および ConsoleDA Manager が使用するポート番号を設定し、「次へ(N)>」 をクリックしてください。

😽 ConsoleDA Manager – InstallShi	eld Wizard		×
初期設定1 ConsoleDA Managerの初期設定を入力	してください。		3
データベース サーバ名:			
			•
🥅 新規データベースを作成する。			
「新規データベースを作成する」にチェックを	した場合の注意薬	事項:	
「データベースサーバ名」で選択したデータ データベースは一旦削除された後に新規で 前にバックアップを行ってください。	ベース サーバに、 『作成されます。』	既にデータベースが存れ と要な場合は、インスト	在している場合、 、ールを続行する
ネットワーク設定			
ConsoleDA Managerの受信ポート1:		6000	0
ConsoleDA Managerの受信ポート2:		60554	4
ConsoleDA Update Serverの受信ボート	:	60002	2
ConsoleDA Agentの受信ポート: InstallShield		6000	1
	< 戻る(<u>B</u>)	(次へ(№) >	キャンセル

入力項目の説明

データベースサーバ名:	データベースサーバ名を指定します。
ギョニークベーフを作成する。	Microsoft® SQL Server®に ConsoleDA 用のデータベース設定/初期化を行い
利成ナータベースを1F成する。:	ます。
	ConsoleDA Manager がコマンドを受信する TCP ポート番号。
ConsoleDA Manager の受信パート1:	1~65535 の範囲で指定します。
	ConsoleDA Manager がコマンドを受信する TCP ポート番号。
ConsoleDA Manager の受信小一ト2:	1~65535 の範囲で指定します。
ConsoleDA Update Server ${\cal O}$	ConsoleDA Update Server がコマンドを受信する TCP ポート番号。
受信ポート:	1~65535 の範囲で指定します。
	ConsoleDA Agent にコマンドを送信するときに宛先とする TCP ポート番号。
ConsoleDA Agentの受信小一下:	1~65535 の範囲で指定します。

重要:

- データベースサーバ名は右側の「▼」をクリックして表示される候補から選択してください。
 ただし、64bit版の SQL Server®をご使用の場合は候補が表示されませんので、手動にて入力してください。
 (Express版の Microsoft® SQL Server®を既定のインスタンス名でインストールした場合は 「(local)¥SQLEXPRESS」となります。)
- 再インストール時などすでにデータベースが作成済みの場合「新規データベースを作成する。」をチェックすると、 データベースが初期化されデータがすべて消去されてしまいます。
- 別 PC・サーバで稼働するプログラムから ConsoleDA Manager と ConsoleDA Update Server の「受信するポート 番号」(TCPポート)に接続できるよう、Windows® Firewall やセキュリティ製品が提供する Firewall 機能の設定を調 整してください。

メモ:

● 既定値の TCP ポートが他の製品によって使用されている場合は、他のポートを設定してください。

ConsoleDA Manager の冗長化を行う場合は「ConsoleDA Manager の冗長化を行う。」にチェックをしてください。 使用する SQL Server®にてデータベースのミラーリングを行う場合は「データベースサーバのミラーリング機能を利用す る。」にチェックをしてください。

🔂 ConsoleDA Manager - InstallShield Wizard				
初期設定2 ConsoleDA Managerの冗長化を行う場合は設定してください。				
▼ ConsoleDA Managerの冗長化を行う。				
このインストールでのConsoleDA Managerの役割を選択してください。				
 正ConsoleDA Manager(マスター) 				
〇 副JConsosleDA Manager(バックアップ)				
別マシンのConsoleDA Managerの情報を設定してください。				
IPアドレス:				
ConsoleDA Managerの受信ポート1: 60000				
別マシンのデータベースサーバの情報を設定してください。				
IPアドレス:				
インスタンス名:				
□ データベースサーバのミラーリング機能を利用する。				
InstallShield				
< 戻る(B) 次へ(1) > キャンセル				

重要:

- ConsoleDA Manager の冗長化機能は、「Hitachi bd Link /CB」ではお使いいただけません。
- 別マシンの ConsoleDA Manager、データベースサーバの情報は以下のように入力してください。
- ・ 正としてインストールする場合は副の IP アドレス、受信ポート1のポート番号を入力する。
- ・ 副としてインストールする場合は正の IP アドレス、受信ポート 1 のポート番号を入力する。
- ・インスタンス名は正、副それぞれの Microsoft® SQL Server®をインストールしたときに設定したものを入力する。
- データベースサーバのミラーリング機能は、Express版の Microsoft® SQL Server®ではお使いいただけません。

「インストール先のフォルダー」では、ConsoleDA Managerをインストールするフォルダーを指定し、「次へ(N)>」を クリックしてください。



「プログラムをインストールする準備ができました」で「インストール(I)」をクリックすると、インストールを開始します。

17	ConsoleDA Manager – InstallShield Wizard
	プログラムをインストールする準備ができました ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。
15	「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。
	インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をクリックオスト・ウィザードを終ってします
	7777 dC 717 1 Cite 1 00 20
Ins	stallShield
	< 戻る(B) インストール(I) キャンセル

「InstallShieldウィザードを完了しました」が表示されたら、「完了(<u>F</u>)」をクリックしてセットアップを終了します。



1.4. アンインストール

ConsoleDA Manager のアンインストールは「コントロールパネル」—「プログラムの追加と削除」から行います。 「プログラムの追加と削除」で ConsoleDA Manager を選択し右側に表示された「削除」をクリックしてください。

🐻 ブログラムの追	加と削除		
5	現在インストールされているプログラム。 ロ 更新プログラムの表示(型)	並べ替え(S): 名前	•
ブログラムの 変更と削除(<u>H</u>)	🖀 ConsoleDA Manager	サイズ	0.63МВ 🔼
~	サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。	使用頻度	低
	コンピュータからこのプログラムを削除するには、削除計をクリックしてください。		肖明余
追加(N)	🔀 Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver		
~	Intel(R) PRO Network Connections 12.3.31.0	サイズ	7.89MB
Windows	💋 Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 2	サイズ	186.00MB
コンポーネントの iftmと買服金(A)	👸 Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 2 Language Pack - JPN	サイズ	6.23MB
7070CH19410	🛃 Microsoft .NET Framework 3.0 Service Pack 2	サイズ	169.00MB
	🛃 Microsoft .NET Framework 3.0 Service Pack 2 Language Pack - JPN	サイズ	9.40MB
	뤵 Microsoft .NET Framework 3.5 Language Pack SP1 - 日本語	サイズ	38.38MB
	🔀 Microsoft .NET Framework 3.5 SP1	サイズ	37.99MB
	📋 Microsoft SQL Server 2005	サイズ	310.00MB
	📋 Microsoft SQL Server Management Studio Express	サイズ	109.00MB
	Microsoft SQL Server Native Client	サイズ	4.20MB
	Microsoft SQL Server VSS Writer	サイズ	0.68MB
	🔒 Microsoft SQL Server セットアップ サポート ファイル (英語)	サイズ	27.13MB
	MSXML 6.0 Parser (KB933579)	サイズ	1.31MB 🗾

下記ダイアログが表示されたら「はい(\underline{Y})」をクリックするとConsoleDA Managerがアンインストールされます。

プログラム	の追加と削除		×
?	コンピュータから Conso	leDA Manager を削	除しますか?
		(いいえ(<u>N</u>)	

重要:

● アンインストール時に下記ダイアログが表示された場合は、そのまま「OK」をクリックしてアンインストールを続行してく ださい。

ConsoleDA Manager	×
インストールを継続するには、次のアプリケーションを閉じる必要 があります:	
ConsoleDA Update Server	
' ・ セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、 ・ 再起動する(©) ・ アプリケーションを終了しない (再起動が必要になる場合があ ・ ります)(№)	
OK キャンセル	

2. 環境設定ファイル

2.1. ConsoleDA Manager

環境設定ファイル名:Manager.exe.config

既定のファイルパス: C:¥Program Files¥Hitachi¥ConsoleDA Manager

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<configuration>
 <configSections>...</configSections>
 <managerConfig bladePollingInterval="30"① remotingPort="60000"②
   poolProviderPort="60554"3 agentPort="60001"4 statusLampAlert="Chassis"5
   statusLampAlertInterval="3"⑥ loqKeepDays="7"⑦ >
   <databaseConnections>
     <add name="Principal" connectionString="connection-string" />\$
     <add name="Backup" connectionString="connection-string" />®
   </databaseConnections>
   <managers role="Master">9
     <manager address="192.168.0.2:60000"<sup>(1)</sup> />
   <managers />
   <ipmi password=""(1) />
   <alertMail sender="a@consoleda.com"
  smtpServer="127.0.0.1"
  port="25"
  //
}</pre>
     <clear />
     <recipient address="a@consoleda.com"<sup>(1)</sup>/>
     <recipient address="b@consoleda.com"() />
   </alertMail>
   <retention hardwareMonitor="3"<sup>®</sup> history="3"<sup>®</sup> powerSaving="3"<sup>®</sup> alert="3"<sup>®</sup> />
 </managerConfig>
  <appSettings>...</appSettings>
</configuration>
```

重要:

*印がある項目については、デフォルトでは表示されませんので必要に応じて上記サンプルを見ながら追記してください。

#	項目設定	既定値(設定範囲)	説明	備考
1	*bladePollingInterval	30(0,10 ~ 600)	ブレードの電源状態ポーリングの間隔。	単位:秒
			0 の場合、ポーリング無し。	
2	remotingPort	60000(1~65535)	Manager のコマンド受信用ポート番号。	
3	poolProviderPort	60554(1~65535)	HCBPoolProvider が接続するポート番号。	
4	agentPort	60001(1~65535)	Agent に接続するときのポート番号。	
5	* statusLampAlert	Chassis(Chassis Blade)	STATUS ランプ点灯時のアラートメールの送信単位。	
6	* statusLampAlertInterval	3(1~5)	statusLampAlertがChassisの場合のメール送	単位:分
			信間隔。	
\bigcirc	logKeepDays	7(1以上)	トレースログファイルの保存期間。	単位:日
		DB 接続文字列	Manager が使用する DB への接続文字列。	2つまで登録可。
8	connectionString			記述順で優先度を決定。
9	role	Master(Master Backup)	Manager の役割を指定。	
10	address(manager タグ)	manager-ip-address:port	監視する対向 Manager のアドレス。	
1	* password	ipmi-password	BMC に設定されているパスワード。	暗号化対象。
(12)	* sender	mail-address	アラートメールの送信者アドレス。	
(13)	* smtpServer	ip-address	SMTP サーバの IP アドレス。	
14	* port	25(1~65535)	SMTP サーバのポート番号。	
(15)	* address(recipient タグ)	mail-address	アラートメールの受信者アドレス。	複数指定可。
16	* hardwareMonitor	3(1~36)	H/W モニターログの保存期間。	単位:月
1	* history	3(1~36)	稼動履歴の保存期間。	単位:月
(18)	* powerSaving	3(1~36)	省電力高価値の保存期間。	単位:月
(19)	* alert	3(1~36)	アラート情報の保存期間。	単位:月